

## 事業提案書要約（草の根協力支援型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ネパール国
2. 事業名	カトマンズの病院における難聴患者の意思疎通支援パイロットプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ネパールの聴覚障害者は人口比 15.45%と多い。聴覚障害を持つ方が自立して難聴やその他の病気の治療において医療サービスを利用するためには、聞こえの保障ないし意思疎通手段の確保が不可欠である。しかし、ネパールの医療機関には現在ほとんどサポート体制が存在しない。そこで、本事業では医療機関の臨床の現場において、意思疎通支援体制を構築し、聴覚障害を持つ方が医師や看護師の話を理解し納得して治療を進められる状態を作る。また、同様のサポート体制をカトマンズ地域の病院に普及させる。
4. プロジェクト目標	トリブバン大学附属教育病院 (TUTH) 耳鼻咽喉頭頸科 (ENT) において来院難聴者に対する意思疎通支援サービスが持続的に稼働する
5. 対象地域	ネパール国カトマンズ
6. 対象地域を管轄する大使館及び領事館	在ネパール 日本国大使館
7. 本事業の対象となる人々	直接受益者：TUTH ENT に所属する病院職員約 50 名及び学生約 185 名 間接受益者：TUTH ENT に来院する成人難聴者（2017 年度は年間約 7 千人） *意思疎通支援活動はカトマンズの病院にも周知されるため、それら病院の職員及び来院難聴者も広い意味で受益対象に含まれる。
8. 事業活動	<活動> 1.意思疎通支援の開発 2.意思疎通支援モデルの確立と TUTH ENT における実践（実践にかかる体制の整備）。 3.カトマンズ地域における意思疎通支援の啓発と促進
9. 実施期間	2022 年 1 月～2024 年 12 月（3 年 0 カ月）
10. 事業費概算額	9,968 千円
11. 事業の実施体制	全難聴が専門家や国内機関とともに現地に対して遠隔基礎教育を行い、また実践を遠隔と現地で管理する。カウンターパートは同じ障害当事者団体である現地 NGO SHRUTI であり、協力して意思疎通支援手段の開発や指導員の養成を行い、それを TUTH ENT で実践して支援モデルを確立する。さらにカトマンズの病院へも周知を行う。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会（全難聴）
2. 活動内容	全難聴は中途失聴・難聴者を中心とした当事者・支援者の団体であり、要約筆記の普及、耳マークの普及、社会の聞こえの保障を求めて、様々な問題に取り組んでいる。

(注：A4 用紙 1 枚以内にまとめてください)